



ポストコロナの新しい
働き方・住まい方・移動のありかた

2023年12月11日

合同会社うさぎ企画 森田創

人起点・感性軸のまちづくり

- 「人財は、人財を知る」

人起点の化学反応により社会課題を解決できる人を使う・作る

- 「既存のリソースを使い倒す」

古いリソースでも人財次第で生まれ変わる

- 「2拠点生活の国策化」

総人口が減る中で、複数地域で活躍できる人材の舞台を整えよ



森田 創（もりた そう）

1974年5月21日、神奈川県川崎市出身

1999年4月、大手鉄道会社入社。

- ・海外事業／オーストラリア都市開発（3年）
- ・社内ベンチャー制度によるフィルムコミッション立ち上げ（3年）
- ・都心駅直通のミュージカル劇場の開業責任者（7年）
- ・広報課長（4年）
- ・伊豆半島での日本初「観光型MaaS」立ち上げ（3年）

2014年10月～ 作家としても活動（兼業作家歴7年）

2021年10月、合同会社うさぎ企画、設立。



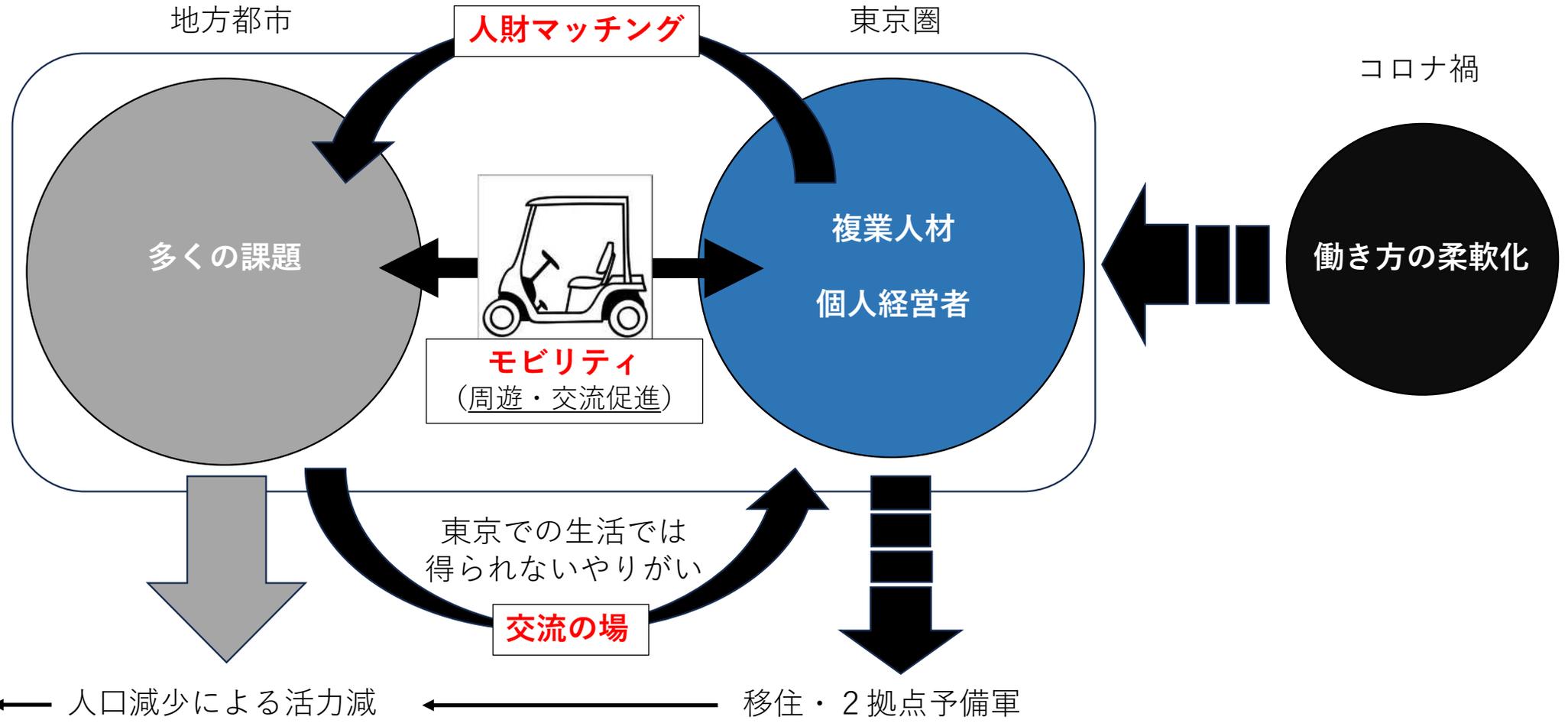


うさぎ企画



一見さん1万人より、継続的に通ってくれる50人が街を元気にする

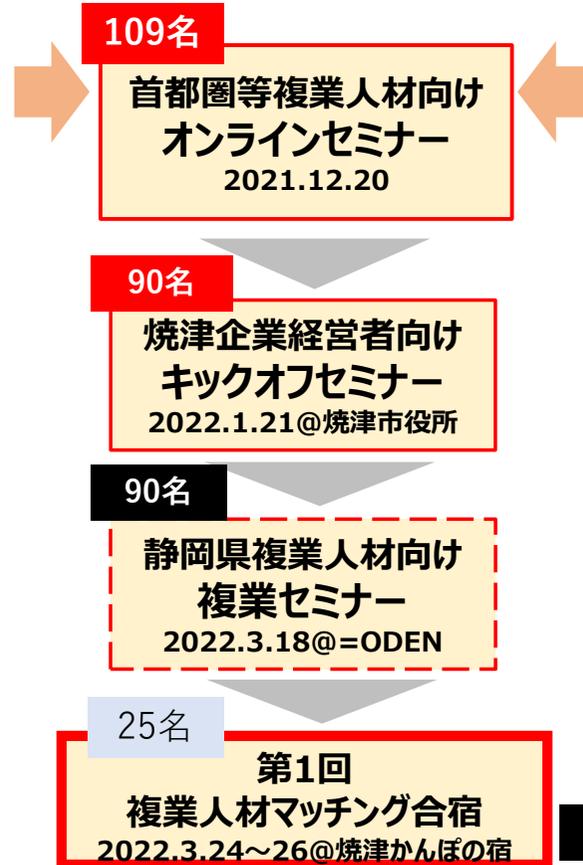
スキルを活かした課題解決



「人づくり」事例：2021年度～ 焼津市での複業人材×地元企業のマッチング合宿

焼津市内企業の主な経営課題

- ◆ EC含めた販路拡大
- ◆ 新規展開戦略立案
(コロナ禍による事業環境の激変)
- ◆ 管理職含めた社員教育
- ◆ 人事労務面の体制整備
(激変する事業環境への対応)
- ◆ デジタル化対応
(サービス高度化+合理化)
- ◆ 社長の壁打ち相手
(経営者自らの危機感)



複業人材の主なスキル

- ◆ マーケティング
- ◆ 広報宣伝
- ◆ 新規事業立案・推進
- ◆ 人事労務
- ◆ 販路拡大
- ◆ DX
- ◆ プロジェクトマネジメント

過去3回で22社中20社でマッチング成立 (9割)

第1回焼津ビジネスマッチング合宿 (2022年3月24日~26日)



【初日】イントロダクション



【初日】企業側の自己紹介



【初日】複業人材側の自己紹介



【初日】企業×複業人材の懇親会



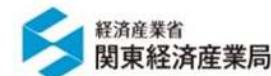
【2日目】企業側の課題プレゼン



【3日目】クロージング

「人づくり」事例：2022年度～ 経産省関東局事業「地域の人事部」

人材活躍の後押し ～「地域の人事部」機能の構築～



- 「地域の人事部」とは、商工会、商工会議所、地域金融機関など地域の支援機関、自治体等がそれぞれの強みを活かし、一丸となって地域企業における「人的資本経営」の定着を目指す体制。
- 各構成機関がノウハウを持ち寄ることで、地域における「人材戦略支援」、「人材採用支援」、「環境整備支援」、「人材育成支援」などの人材支援プラットフォームとしての役割を期待。
- 管内8自治体（日立市、常陸太田市、大子町、松本市、塩尻市、長岡市、燕市、三島市）において「地域の人事部」の体制構築を実証中。

■「地域の人事部」構成機関

【燕市】
地域事務局：株式会社つばめいと
構成機関：燕市、燕商工会議所、第四北越銀行、協栄信用組合、三条信用金庫

【長岡市】
地域事務局：株式会社ひとつぶ
構成機関：長岡市、長岡商工会議所、第四北越銀行、長岡信用金庫、大光銀行

【松本市】
地域事務局：松本商工会議所
構成機関：松本市、松本ものづくり産業支援センター、八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、松本信用金庫、信州大学

【塩尻市】
地域事務局：NPO法人MEGURU
構成機関：塩尻市、塩尻商工会議所、塩尻市振興公社、八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫、長野県信用組合、信州大学、松本大学

【三島市】
地域事務局：三島信用金庫
構成機関：三島市、三島商工会議所、静岡銀行、静岡新聞社

【日立市】
地域事務局：（公財）日立地区産業支援センター
構成機関：日立市、日立商工会議所、常陽銀行、(株)シンカゼ

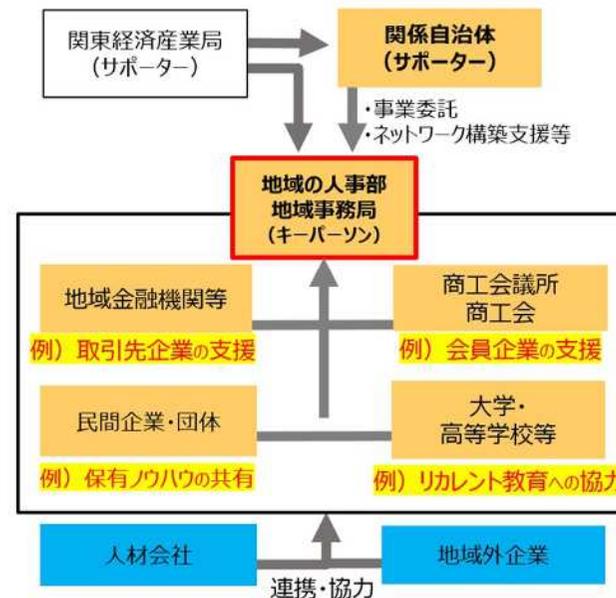
【常陸太田市】
地域事務局：常陸太田市商工会
構成機関：常陸太田市、常陽銀行、筑波銀行、水戸信用金庫、茨城県信用組合、(株)シンカゼ、(一社)いほぼくらと

【大子町】
地域事務局：大子町商工会
構成機関：大子町、常陽銀行、筑波銀行、茨城県信用組合、(株)シンカゼ



※2023年9月時点の体制

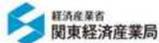
■「地域の人事部」体制イメージ



三島信金顧問として進める
「地域の人事部」 in 三島市

「人づくり」事例：2022年度～ 経産省関東局事業「地域の人事部」

地域に人財が増えても、受け入れる地域企業側もアップデートしていかないと宝の持ち腐れ



経済産業省
関東経済産業局



地域の人事部

外部人材活用を見据えた 「経営課題 言語化ワークショップ」

自分では分かっている気で話しても、相手に伝わらないことはどなたにも経験があるはず。経営者の方にとって、自社の経営課題を言葉にする機会は意外と少ないのではないでしょうか？



もし手ごわい経営課題を、第三者の力を使って解決しようとするならば、その経営課題を分かりやすく、誰にでも分かるように伝えることが第一歩となるはず。

そんなありそうでなかった「経営課題言語化ワークショップ」、一緒にトライしてみませんか？

日程	令和5年9月13日（水） 14:00～15:30
対象	外部人材を活用した経営課題解決に関心のある事業者様（業種・業態を問わず、ご参加いただけます）
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 経営課題の言語化について 自社の経営課題を伝えてみよう 外部人材（複業人材）活用、人的資本経営について
講師	合同会社うさぎ企画 代表 森田 創 氏 （三島信用金庫アドバイザー）
会場	三島信用金庫 本部（駿東郡長泉町下土狩96-3）
定員	最大15名
その他	裏面の「事前課題シート」をご記入のうえ、当日ご持参ください

三島信用金庫 M-Station うさぎ企画

（主催）経済産業省 関東経済産業局
令和5年度関東経済産業局における
地域中小企業・小規模事業者の人的資本支援等事業
【企画運営】株式会社（ソナ）XOB HUB（事業委託会社）
【協力】三島地域の人事部

QRコードよりフォームに
アクセスの上、お申込みください



<https://forms.office.com/r/kmWSPpgQJk>



「場づくり」事例：焼津漁港倉庫のリノベーション事業（交流施設への改修）

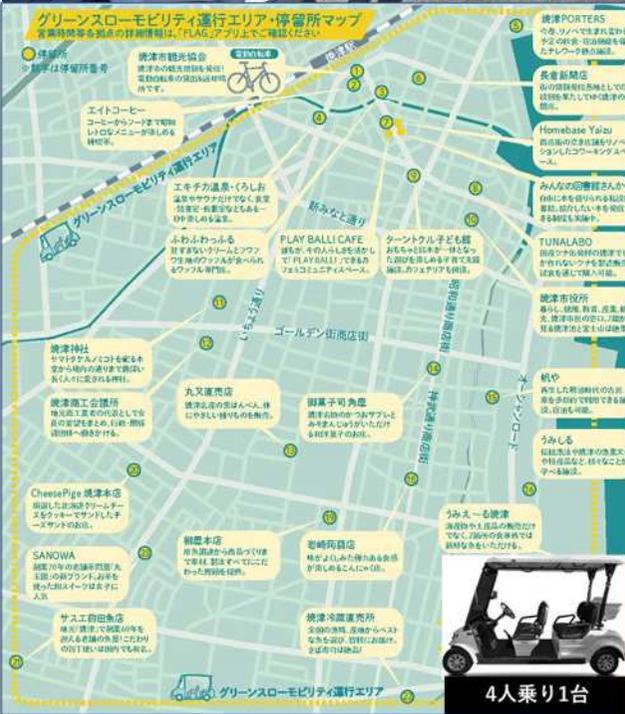
➡ 複業事業で焼津に通い始めた人財が事務所を構えた事例も（関係人口として定着化）



2023年7月第1期完成

「足づくり」事例：焼津市での交流型オンデマンド交通実験（2023.1.16～2.28）

●平日のみ31日間で有料乗客数173人（5.6人／日）、乗車回数520（3回／人）
乗客の7割は市外。42%は起業家や経営者。停留所となった商店での経済効果20万円



うさぎ企画 焼津で実験へ

ビジネス交流

AIが相手提案 面会場所まで迅速配車

「焼津PORTERS」は、AIが相手提案し、面会場所まで迅速配車を可能にする。AIが相手提案し、面会場所まで迅速配車を可能にする。AIが相手提案し、面会場所まで迅速配車を可能にする。

AIが相手提案し、面会場所まで迅速配車を可能にする。AIが相手提案し、面会場所まで迅速配車を可能にする。AIが相手提案し、面会場所まで迅速配車を可能にする。

複業人材交流 EVでGo!

アプリと移動手段 組み合わせ

焼津で来月実証実験

「焼津PORTERS」は、複業人材交流を促進するためのEV移動手段を提供する。アプリと移動手段を組み合わせ、焼津で来月実証実験を行う。

複業人材交流を促進するためのEV移動手段を提供する。アプリと移動手段を組み合わせ、焼津で来月実証実験を行う。



行政・企業アドバイザーとしての活動

人づくり・場づくり・足づくりを全てプロデュースできる強みを活かした活動

●行政アドバイザー

- ◆山梨県庁顧問（2022年度）
- ◆静岡県焼津市（2022年度）
- ◆静岡県東伊豆町（2022年度～）
- ◆静岡県湖西市（2022年度～）



+

●企業等アドバイザー（現職のみ）

- ・（株）ヴァル研究所（都内）
- ・（株）TicketQR（長野県）
- ・（株）東平商会（静岡県）
- ・三島信用金庫（静岡県）
- ・Nexstokyo行政連携メンター



人起点のまちづくりを支える「生活圏」（行政境を越えたエリア単位）

人口減少による行政単位毎の生活インフラ維持の見直し要請の中で、
歴史や風土など自然なつながりを持ったエリア単位の成立可能性大

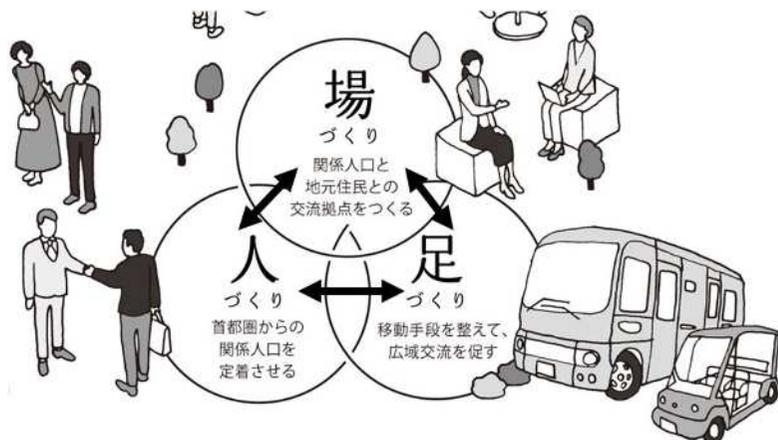
●人起点の社会づくりを考える上では必須

- ・人財視点：移住したとしても、面白いところ、自分を活かせる近隣の街にはどこでもいく
- ・生活者視点：良い病院や商業施設があれば、行政境をまたいで移動する

●「生活圏」の成立要件は、

- ①行政境を越えたリーダーシップを持つ意思決定主体
- ②いつでもどこでも「仕事・交流・移動できる」環境

③人財視点に立った「移住」の再定義と、
定住以外の貢献人財に向けた行政サービス検討



「生活圏」事例（経産省事業「伊豆半島での広域課題解決に向けた交流拠点連携事業」）

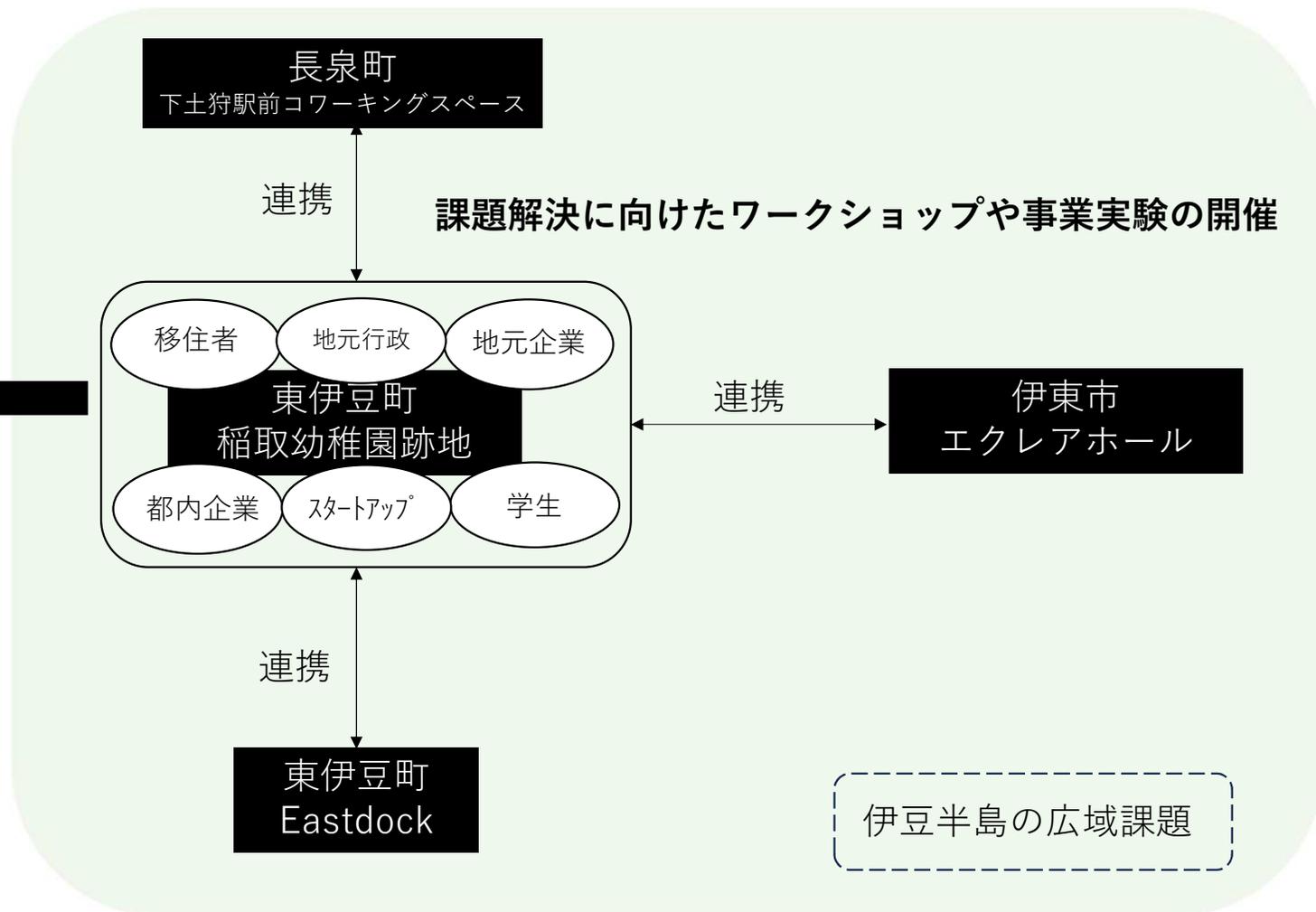
幅広く人財を知る民間コワーキングスペースを主人公とした広域課題解決の枠組み

めざす成果

外部人材による課題解決

広域連携での企業誘致

人材交流による事業創発



まとめ

○人起点のまちづくり

→「人づくり・場づくり・足づくり」の掛け合わせ

○人財ファースト

→「解決能力の高い人財」を主人公とするシナリオを

○生活圏

→人起点だからこそ、人財ファーストの受け入れ環境整備を

○提言

→一定条件を満たした人財は「2拠点生活を制度化」すること！
太平洋側に住民票を持っている人材は、2拠点目は日本海側。
(できる人間に2倍・3倍働いてもらうしかないのでは??)